

農協と組合員をつなぐ広報誌

なつじん



中春別の夏を彩る第19回「宵の市」が8月8日(火)に、中春別農協前にて開催されました。肌寒い中での開催となりましたが、開始の合図とともに多くの来場者で、またたくまに会場は満席に。寒さに負けない熱気で大盛況となりました。



9月号

2017 Vol. 476

第19回

育の市



中春別の夏を彩る第19回「育の市」が8月8日(火)、中春別農協前にて開催されました。親子連れなど多くの組合員さんや街の人が繰り出し、お祭りを楽しみました。

にぎわい、ふれあい、 いま最高潮!



当日は気温が低く15.7℃と肌寒い中での開催となりましたが、開始の合図が鳴ると会場には続々と人がつめかけ、会場はあつという間に満席になりました。

会場には出店が軒を連ね、女性部は牛乳の販売を行い開始から1時間で完売。青年部は新作のオリジナルホットドックバーガーを販売すると、すぐに行列ができ「もうないの?！」と言われるほどの売れ行きでした。

ちびっ子広場では射的やヨーヨーすくい、キャプテンキッドにたくさんの子供たちが集まり、賑わいをみせていました。

恒例のサイコロゲームでは2個のサイコロを同時に転がし、出た数とそろ目を出せばその数だけ卵がプレゼントされるとあって、子供から大人(女性のみ)まで長蛇の列ができ、「な





んと！卵18個です！おめでとうござ
います！」のアナウンスに、会場は驚
きと同時に大盛り上がりでした。

主婦が張り切る野菜、果物オーク
ションでは、店長からの商品説明で金
額が発表されると「高い！もつと安
く！」と値切り交渉。スタートの値段
が安くなるかと我先にと手が挙がり、
店長と会場のお客さんでじゃんけん
が始まり激しい戦いとなりました。

最後にメインイベントのお楽しみ
抽選会。抽選箱から読まれる番号に
会場はどきどきに包まれ「1等賞！
おめでとうございます」のアナウンス
に会場からは拍手と歓声が飛び交
い、大盛況のなか第19回宵の市は無
事に終了しました。



豊原仮装盆踊り

豊原地区で8月16日(水)に、豊原会館前広場にて仮装盆踊りが盛大に開催されました。

たくさんの提灯が飾られた会場には多くの地域の人で賑わい、夜遅くまで盆踊りを楽しみました。

仮装盆踊りは子供の部と大人の部と2部構成で、それぞれ趣向を凝らした衣装に身を包み「皆より目立つちゃおう!」とやぐらを囲み踊りました。

子供たちはお父さん、お母さんが手作りした衣装とメイクで、「キン肉マン」や「ミニオン」に扮し、可愛らしい子供たちが子供盆踊りの唄とともに踊りを披露、そんな我が子を優しい目で見つめ、何とも微笑ましい仮装大会になりました。



威勢の良い太鼓が響き渡る

赤くほんのり灯がともれば、
太鼓もびびく踊り子もそろろう

豊原地区のページ

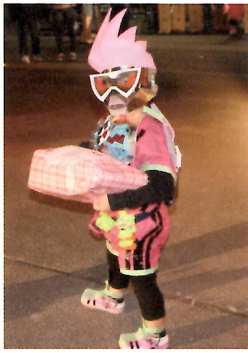


アイデア満載、手作り感いっぱい衣装



おもちゃの出店は大人気!





やぐらの上では威勢の良い太鼓が鳴り響き、午後8時過ぎには大人の部がスタートしました。仮装のママ友繋がり
の参加者や、ひまわり会の人たちが毎年アイディアいっぱい
で会場を大いに盛り上げてくれました。また、会場には
若い人たちが中心となつて出店を出し、鳥串、豚串、焼きそ
ばなどに汗をかきました。
昨年は突然の豪雨に会場は大騒ぎとなりましたが、今年
は天候が良い中、無事に終えることができました。



豊原開拓記念祭

世代を超えて 受け継がれた伝統のお祭り

青空が広がる晴天の中、豊原開拓記念祭が8月20日(日)に開催されました。

床丹第二神社に保育園児、小中学生が50人以上集まり、例大祭と開拓記念祭の御祭儀を執り行いました。神社から子供神輿を先頭に4基の神輿と獅子舞が旧豊原小学校を目指し「わっしょい わっしょい」元氣よく歩き、最後まで一所懸命神輿を担ぎました。

豊原会館前に着くと若い人達が汗をかきながら、クレープや子供向けのおもちやを準備し、ジンギスカンも用意されていました。

豊原ちっぴ子太鼓や豊原手踊りグループが中心となつて輪になり会場のみんなで踊つたり、豊原バンド演奏などで会場は大盛り上がりとなりました。最後に恒例のビンゴゲームが行われ、豊原開拓記念祭が終了しました。



美原仮装盆踊り

美原地区で8月16日(水)に、美原会館前広場にて「美原仮装盆踊り」が開催されました。

子供の部、大人の部の2部に分かれ、それぞれ趣向の凝らした衣装に身を包み、太鼓に合わせてやぐらを囲み盆踊りを楽しみました。

子供の部ではお父さん、お母さんが試行錯誤して作った衣装を着て、元氣いっぱい踊る可愛らしい姿に会場は盛り上がりました。

アイディア満載で、華やかな衣装を身にまとった仮装盆踊りも大人の部へ。「美女と野獣」、「林家パー子」など時間をかけて作った衣装のママ友参加者たち。盆踊りが終わると団体、個人の部の表彰が行われ、その後、記念撮影をして和気あいあいとしたなか、華やかなムードで幕を閉じました。

美原地区で8月16日(水)に、美原会館前広場にて「美原仮装盆踊り」が開催されました。



となり近所も遠くの人も
踊りや地域の心はみなひとつ

美原地区のページ

観客を魅了し、
アイディア満載！
楽しませてください



民族衣装が似合っています



工夫を凝らした衣装で登場！



美原権現祭

みんなの心が躍り、お祭り気分を満喫した1日

天気にも恵まれた8月20日(日)、美原社務所前にて美原権現祭が開催されました。

旧美原小学校から美原神社へ向けて保育園児から小学校低学年のお神輿と、小学校中学年から高学年のお神輿二基をそれぞれ担ぎ、法被を身にまとい、「ワッシヨイ、ワッシヨイ」と威勢の良いかけ声とともに練り歩きました。お神輿担ぎを終えた後は、「子供乗馬体験コーナー」が始まり、大人たちに手綱を引いてもらい、乗馬を楽しみ笑顔いっぱいの子供たち。

お昼を迎えたところで、炭火を囲んで焼き肉がスタート。ステージ上では美原子童太鼓の演奏が始まりました。力強い庄巻のパフォーマンスに会場中が引き込まれました。

次に美原踊り会による息の合った舞踊の後、外国人実習生がギターを弾き歌を披露し、拍手喝采。

最後にお菓子や豪華景品が当たるビンゴ大会が行われ、大人から子供まで皆で盛り上がり、地域の親睦と交流を深めた美原権現祭が幕を閉じました。





もりもり食べて飲んでスタミナアップ!
家族みんなが笑顔です



仕事に遊びに、エネルギーの補給は美原権現祭で



太鼓の勇壮さに
思わず驚きです

富岡ふるさと祭り

楽しいゲーム、催し物に 歓声と笑い声が夜空に響く

富岡地区の大イベント「富岡ふるさと祭り」が8月17日(木)に開催されました。

地域の人や帰省している家族など、たくさんの人たちが次々と集まり「富岡ふるさと祭り」は賑わいを見せていました。炭火を挟んで、ビールを片手に焼肉や鳥串などをほおばりながら、「今年の1番草はよかつたな」、「お前んとこの孫、今どうしてる？」など、いつも会つてる人、久しぶりに顔を見る人も近況報告に話がはずみました。

お腹が満たされたところで、子供たちによる「お菓子袋詰め」、女性限定の「トウモロコシ袋詰め」が行われました。お祭りが盛り上がったところで、各チーム5人1組にわかれて「バケツプリン早食い競争」が開始され、いくら食べても減らないプリンのおかげで、あまりの大きさに参加者からは「もお、駄目、これ以上食べるのは無理!」「これ以上食べると太る」と悲痛的な声も。中には、

富岡地区のページ



みんなで食べる焼き肉はおいしいですね



トウモロコシ袋詰めは女性陣殺気立っていました



お菓子袋詰めには子供たちは始める前から目星をつけています



焼き湯や焼きトウモロコシに汗をかきながら提供します



大きなプリンに悪戦苦闘中!



飲み物のようにすさまじい早さで食べる人もいたことで、観客も驚きで大盛り上がりとなりました。
次に「ビンゴ大会」、「じゃんけん大会」が行われ、じゃんけん大会では、商品の一升瓶を狙い、大人から子供まで白熱した勝負となりました。
次にメインの盆踊りが行われ、子供たちの可愛らしい仮装姿に周りも笑顔になりました。
最後は恒例の餅まきを行って、今年のおとまりの餅まきが大盛況のうちに終了しました。汗をかきながら焼き鳥を焼いたり、趣向を凝らした催しものの準備に多くの時間を費やされた関係者の皆さん、大変おつかれさまでした。



白熱した勝負
じゃんけん大会



餅まきは大人も子供も真剣モードです



子供たちの可愛らしい盆踊り



夏の牛乳 大作戦

J A 中春別青年部と J A 道東あさひ青年部の 2 J A 合同企画で、道の 駅摩周温泉と野付ネイチャーセンターの 2カ所で、日本各地から訪れた観光客へ別海町の乳製品を PR する「夏の牛乳大作戦」が 8月11日(金)、12日(土)の 2日間にわたり行いました。

「とっても味がコク、 美味しいね！」と嬉しい声が

J A 中春別青年部、J A 道東あさひ青年部合同企画



無料配布したのは「べつかいの牛乳屋さん」、「べつかいのコーヒー牛乳屋さん」、「べつかいのアイス屋さん」とミルクランドグッズなど。

2日間ともあいにくの雨模様で観光客が来てくれるか不安でしたが、お盆休みということもあって、当初の心配をよそに多くの来場者が訪れてくれました。

青年部員が一人ひとりに声をかけて別海町の乳製品を PR し配布すると、「昨年も来て乳製品をいただきました。とても美味しかったです。」「昨年、アンケートに入したところ抽選でアイス



**道の 駅摩周温泉、
野付ネイチャーセンター
とも短時間で完売！**

クリームセットが届き、とても嬉しかった！」また、「味がコク、新鮮でいつも飲んで

いるよ！」など、たくさんの方の嬉しい声をいただき青年部員の励ましになりました。

配布開始からわずか40分ほどで完売終了しました。

また、道の 駅摩周温泉では、J A 摩周湖青年部の協

力もあり青年部員同士の交流をかねながら乳製品を配布し、多くの観光客の方から喜びの声がかげれました。

配布終了後には、J A 摩周湖・川口組合長さんのご厚意で地元で生産された摩周メロンの差し

入れをいただきました！大変美味しく、疲れも吹き飛ばしました。ありがとうございました。また、J A 摩周湖青年部との交流もでき、貴重な情報交換もする事ができました。

今年もアンケートを実施しており、抽選でアイスクリームセットのプレゼントをします。たくさんのご協力ありがとうございます。

「のめばわかるぞー！」

ギユウつとミルクパワー☆

最優秀賞
中春別中学校3年
玉木 優輝くん

青年部では、5月末まで募集したロールバックメッセージ標語の入賞者の表彰式を、8月18日(金)、中春別中学校、8月21日(月)、中春別小学校でそれぞれ行いました。



最優秀賞を受け取る玉木優輝くん

今年から入賞制度を取り入れ、最優秀賞1人、優秀賞4人が表彰されました。

「のめばわかるぞー!ギユウつとミルクパワー」
☆ 中春別中学校3年 玉木優輝
優秀賞

「みんなにぎゅうにゅうをのんでほしい!」
中春別小学校1年 いわさはる
「牛にゅうは北海道の宝!たくさんのモー!」 中春別小学校4年 石森こうき

「やっぱコレだね〜♪別海の牛乳!」

中春別小学校6年 乾夏子

「今日の元気は、牛乳から。」

中春別中学校3年 川畑香奈

表彰は野矢青年部長と藤倉理事が行い、入賞者には図書カードが贈呈されました。ご協力いただいた、小学校、中学校にはミルクとシツパーを配布しました。最優秀賞の作品は共和育成牧場全酪連牛舎敷地内にて作成予定のロールバックメッセージの標語となり、作成は秋に行う予定です。たくさんのご協力ありがとうございました。



▶ 優秀賞の図書カードを受け取る



▶ 野矢青年部長から図書カードを受け取る優秀賞の皆さん

話もはあみ親睦を深め 友達の輪をたげました

「青年部会」「中春別営農サポート協議会研修生」「中春別酪農ヘルパー利用組合職員」との交流会

青年部の中で30歳以下の若手で構成される青年部会(柿本竜矢部会長)と「サポート協議会研修生」、「ヘルパー利用組合職員」との交流会が8月

4日(金)、中標津の居酒屋わっはで開催され、部会員10人、サポート研修生5人、ヘルパー職員2人が参加しました。

始めに柿本部会長の挨拶の後、昨年同様に友達づくりの場として交流会が始まりました。普段はなかなか顔を合わせる機会が少ない参加者同士でしたが、アルコールが進むにつれプライベートな話や仕事の話をして会話も弾みました。時間が経つにつれて、それぞれ親睦も深まり、仕事の疲れを癒す休息となりました。



梅なかしゅんべつ未来牧場
**研修生
 紹介**

今月号では、「梅なかしゅんべつ未来牧場」へ研修に入って酪農実習をしています梅澤大輔さん、丸山真来さんのお二人をご紹介します。



梅澤大輔さん、丸山真来さんをご紹介します

梅澤大輔 (36歳)
 群馬県渋川市出身
 趣味・特技 スキー、旅行、クラシック音楽を聞くこと

丸山真来 (22歳)
 新潟県 南魚沼出身
 趣味・特技 スノーボード

Q・地域の酪農仲間たち
 にひと言お願いします。
 A・今後ともよろしく
 お願いいたします。

Q・酪農に抱くイメージを
 教えてください。
 A・様々な地域の酪農
 を見てきたので特別なイメージは
 ありません。

Q・なかしゅんべつ未来牧場へ
 研修に入ろうとした動機を
 教えてください。
 A・始動したばかりなので
 就農した時と同様な時間を
 を、経験できると思い決
 めました。



Q・将来の希望・夢を
 教えてください。
 A・地域に根ざした酪農が
 できればと思います。





初めての搾乳作業も2日目を通ればスムーズに



ロールの大きさに驚いていました

動物看護師を目指す 専門学生が1週間の酪農体験

べつ未来牧場の研修棟に宿泊し、酪農の基礎知識についての座学研修や未来牧場での朝・夕の子牛への哺乳作業、搾乳体験、酪農ヘルパー職員に同行し搾乳や牛舎清掃などを体験しました。最初は恐

る恐る牛に近づきながら作業していた学生でしたが、日を追うごとに牛にも慣れ、乳拭きや搾乳作業を積極的にこなしていました。学生たちは普段経験のできない自炊による集団生活。中標津町のスーパーでは、食材を探しながら「何を作って食べようかな」と互いに相談しながら面白い物を楽しんでいました。地区内の牧場視察では、放牧・フリーストール・搾乳ロボットと飼養形態の違う酪農家をそれぞれ視察し、「べえーと牛を呼び牛達と記念撮影。ジェネティクス北海道では牛の精液について学び、種雄牛を見て学生達はその大きさにビックリ。人工授精や繁殖健診では牛の子宮内をエコーで見ながら受胎の状況を確認しました。

座学研修では(株)オーレンス谷野室長を講師に招き、乳牛の仕組みや扱い方、酪農用語、牛舎周辺の環境整備について学び、1週間の研修のまとめとして確認テストを行ないました。また、先生方も子牛への哺乳作業や牛舎内の清掃、搾乳作業を行ない牛乳の生産現場を体験。冗談交じりに「牧場従業員になろうかな」などと酪農の仕事に対して非常に興味を持たれていました。

最終日の前日夜には(株)なかしゅんべつ未来牧場の職員および研修生、JA職員、学生、先生方が集まり懇親会を行ない、焼肉を食べながら1週間の研修での楽しかったことや苦労話などで盛り上がり、食後のデザートに「なかしゅんべつミルクロール」を試食。学生・先生方は「おいしいね」と大満足されていました。



藤倉さんに農場の視察をさせていただきました



ホクレンの家畜市場を見学

平成29年度文部科学省委託事業の学び直し実証講座として学校法人工藤学園愛犬美容看護専門学校(札幌市)の学生が(株)なかしゅんべつ未来牧場で畜産実習を行いました。

8月6日(日)に緊張した面持ちの専門学生7人と先生2人がレンタカーで中春別入りし、畜産実習がスタート。学生達は(株)なかしゅんべつ未来牧場に到着すると、まずはお礼の言葉を述べ、先生方から1週間の研修のスケジュールや注意事項が説明された。まずは牛舎の見学から始まり、搾乳体験や牛舎清掃など、酪農の基礎知識を学ぶ。その後、放牧・フリーストール・搾乳ロボットと飼養形態の違う酪農家を視察し、酪農の魅力や今後の酪農の発展について話を聞いた。

最終日の前日夜には(株)なかしゅんべつ未来牧場の職員および研修生、JA職員、学生、先生方が集まり懇親会を行ない、焼肉を食べながら1週間の研修での楽しかったことや苦労話などで盛り上がり、食後のデザートに「なかしゅんべつミルクロール」を試食。学生・先生方は「おいしいね」と大満足されていました。

満足されていました。最終日は1週間お世話になった(株)なかしゅんべつ未来牧場の宿舎を清掃し、学生たちからお世話になった未来牧場の職員や研修生に感謝の気持ちを伝え、レンタカーで帰路。車の窓を開けて見えなくなるまで手を振ってくれた学生達が非常に印象的でした。今回の畜産実習を通して、酪農や地域の魅力を肌で感じ、今後の職業選択の中のひとつとなってくれればと思います。学生の皆さん1週間大変お疲れ様でした。



北海道酪農ヘルパー学生インターンシップ 2017



「マコ」で学んだことを、
これからの畜産実習にいかしたい

北海道酪農ヘルパー事業推進協議会(道内88の酪農ヘルパー組織で構成)が主催する「北海道酪農ヘルパー学生インターンシップ2017」が8月21日から4泊5日の日程で開かれました。

酪農ヘルパーに関心のある学生が道内各酪農ヘルパー利用組合において業務

を体験してもらい、酪農ヘルパーを将来の職業選択の一つとして位置づけてもら

う事を目的に、関東・関西の大学などから参加者を募り、77人の学生が参加のものと開催されました。

根釧地区には20人の学生が参加し、J A 中春別酪農ヘルパー利用組合には、日本獣医生命科学大学2年生の佐藤聖也さんが参加され、ヘルパー職員に同行し中春別地区の金子琢哉牧場、豊原地区の南澤斉牧場で搾乳や牛舎清掃などを体験しました。

23日には美原地区の乾牧場で放牧について、中春別地区の藤倉牧場でフリーストール牛舎及び



ロータリーパーラーについてそれぞれ学びました。24日には(株)なかしゅんべつ未来牧場、(同)グリーンコンプレックスサービスを見学し、酪農に対する考え方や研修牧場の概要TMRセンターの役割についてお話を伺いました。

佐藤聖也さんは、「動物とふれあう酪農ヘルパーの仕事

に大変魅力を感じました。今後の学校での畜産実習に活かしたいです」と、最



後に熱く話してくれました。

秋の草地管理について

最終番草の収穫を終え、秋の草地管理は、来年の良質な粗飼料生産を行う上で重要です。今回はそのポイントについて説明します。

①石灰質資材の散布

草地は更新して年数が経つにつれ、土壌が酸性化に進む傾向にあります。これは窒素肥料の施用により酸性化が促進されるため、酸性化が進むと、牧草の養分吸収効率の低下など、牧草が生育しにくい環境になります。その結果、収量の低下や植生の悪化につながります。土壌のpH5.5を下回らないよう、タンカルであれば年間40kg/10a程度(2〜3年分を一括施用も可)を目安に散布しましょう。

②草地の通気性などの改善

収穫作業で大型機械の走行が繰り返されると、草地の土壌は硬く締まり、通気性が低下します。エアレーション(リノベーターなど専用の機械でルートマットを切断して、土壌の通気性を改善すること)で、牧草の活性を高めることができます。



写真1 リノベーターを活用した事例

③雑草(ギンギシ)対策

ギンギシの目立つ草地は、最終番草を収穫して、ギンギシの葉が数枚展開してきた頃、または葉の大きさが手のひら大に生育したタイミング(写真2)で、ハーモニーやアージランなどの専用の除草剤を散布しましょう(表1)。

この時期のギンギシは冬に向けて養分を根にためようとしています。このタイミングで除草剤を散布すると、根までしっかりと



写真2 葉が展開してきたギンギシ

④土壌診断を行う

効かせることができます。しかし、気温が低すぎると葉面からの吸収が低下するため、降霜までに散布を終えるようにしましょう。

土壌診断を行い、草地更新や、施肥設計に役立てましょう。肥料費の節減や収量向上にもつながった事例もあります。土壌診断の土壌を採取するタイミングは、最終番草収穫後からスラリーや堆肥を散布する前までです。

表1 除草剤の使用量と注意事項

商品名	10a 当の使用量	注 意 事 項
水和剤 75%ハーモニー	経年草地 3g	<ul style="list-style-type: none"> 散布後 21 日間は採草及び放牧を行わない。 クローバに対する薬害が著しい。 散布で用いた器具類はできるだけ早く専用の洗浄剤でよく洗浄すること。 散布液の飛散や流出によって有用植物に薬害が生ずることのないよう十分注意して散布すること。 春散布は避ける。
	新播草地 0.5~1g(散布水量 100 l)	
液剤 アージラン	経年草地 300~400 l ml	<ul style="list-style-type: none"> 当年はギンギシ類の黄化のみで翌年春に枯死する。 散布後 14 日間は放牧を行わない。 夏・秋には種した草地は、薬害が生じる恐れがあるため散布はさける。
	新播草地(10 月上旬~中旬) 200~300 ml	

北海道農作物害虫・雑草防除ガイドより引用





第34回 2歳クラス(乳器)

ホルスタイン

写真コンテスト結果発表

中春別乳牛改良同志会(竹田潤会長)主催で行いました第34回写真コンテスト予想投票は、多数の応募がありました。

序列付けをオールジャパンブリーダーズサービス株式会社営業部係長山田拓嗣様をお願いし、**正解は、A→D→B→Cとなりました。**

見事全問正解したのは新谷静子さん、川村琴音さん、菅野律子さん、佐々木良介さん、藤原香さんの5人でした。正解率の高かった方を抽選した結果、浅原リエ子さん、中西玲子さん、藤原誠さん、真部更紗さん、目黒真由さんに賞品を贈呈致しますのでJA中春別畜産課畜産指導係までおこし下さい。

講評

この度、中春別乳牛改良同志会の写真コンテストのパネラーとしてご指名いただきました、オールジャパンブリーダーズサービスの山田と申します。不慣れで力不足ではありますが、精一杯持てる知識を動員して序列を決定させていただきましたので発表させていただきます。

序列でございますがA-D-B-Cという序列にさせていただきました。

2歳級4頭の乳器のみの審査ということでござい

ましたが、機能性に富んだ乳器の牛達がそろったクラスでした。

その中でも1位にさせていただきましたA号牛ですが、4頭の中で最も活気のある、機能的な乳器をしておりました。2位にしたD号牛と比較した際には、D号牛より、乳器の力強さ、乳頭の配置、中央韌帯の鮮明さといった点においてA号牛が上回ってりました。

2位のD号牛と3位のB号牛を比較した際には、B号牛より、乳房の質、後乳房の付着点の高さや幅といった点においてD号牛が上回ってりました。

3位のB号牛と4位のC号牛を比較した際には、C号牛より、前乳房の付着の強さにおいてB号牛が上回ってりました。しかしながら、4位のC号牛も正確な乳頭配置をした魅力ある牛でした。

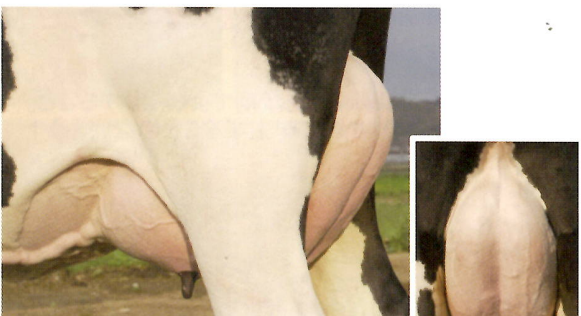
以上のような序列とさせていただきます。言葉足らずの読みづらい講評となりましたこととお詫び申し上げます。これからも微力ではありますが、中春別の乳牛改良のお力になれるよう勉強に励んでいきたいと思っております。また、このような貴重な機会を与えていただきました竹田会長を始め、同志会会員の皆様に深く御礼申し上げます。



1位 A



2位 D



3位 B



4位 C

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様へ定期的に伝えたい。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトををご覧ください。

JA北海道中央会

昨年12月の「農協改革」に関する

組合員向け資料に引き続き、「准組合員制度」についての組合員向け資料を作成しました。

准組合員利用規制に関して、農林水産省が結論を出す期限の平成33年3月末が迫る中、准組合員利用規制が及ぼす影響を、組合員の皆さん一人ひとりが考えるきっかけとしての活用を目的としております。

本資料は、准組合員制度の成り立ちや准組合員が地域を支える実態、規制改革推進会議が准組合員利用規制を迫る背景などを、平易な対話形式により表現しております。

中央会のホームページに資料を掲載しておりますので、ご覧ください。



JA北海道信連

8月に、小学生の親子を対象とした「旬食カレッジ3旭川「収穫・料理教室」をJAあさひかわの協力を受け開催しました。

大根の収穫体験、収穫した大根を使った料理教室、農業者による講演などを実施するなど、「食材が畑から食卓に並ぶまで」を体験していただき、農業・食の大切さを伝えることができました。参加者には、「農家を身近に感じた」「また参加したい」など好評でした。



ホクレン

LINE@等を活用した生産者向け情報発信サービス「ホクレンインフォメーション」では、生産者の皆様に向けたイベントや新商品の情報、生産資材（飼料や農薬など）価格、スマート農業情報などの営農情報をタイムリーに発信しております。今後とも生産者の皆様に役立つ情報を発信してまいりますので、ぜひお手持ちのスマートフォンやパソコン（<http://hokuren-news.jp/>）から登録ください。



JA共済連北海道

8月4日、札幌にて「全道LA・スマサポ大会」を開催し、全道JAの中から、平成28年度普及活動で優秀成績を取めたLA38人と、スマイルサポーター二人が登壇し、表彰しました。JA共済では、これからも「3Q訪問活動」と「あんしんチェック（保障点検活動）」の実践を通じて、組合員・地域利用者の信頼と期待に応え、「安心」と「満足」の提供に努めて参ります。



JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様のために生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご覧ください。



●【経営科】農業クラブ各全道大会で活躍! 全国大会の出場権獲得!!!

8月9日(水)、日本学校農業クラブ北海道連盟全道技術競技大会が旭川農業高校を当番校として行われ、本校から3種目に計9人の生徒が出場しました。

作物名や農機具名などを答える農業鑑定競技(畜産コース)には4人が出場しました。生徒は夏休み中も登校して学習を行い、本番ではその成果が発揮され3人が優秀賞を受賞しました。その中でも上位だった3年南澤茜さん、小笠原陽くんが10月に岡山県で行われる農業クラブ全国大会に駒を進めることとなりました。



鑑定競技、模範解答を確認中

また、8月21日(月)、22日(火)には、日本学校農業クラブ連盟第37回全道意見発表大会が、旭川農業高校を当番校に行われました。本校からは3年守屋美紅さんが出場し、分野(畜産)で最優秀賞を受賞しました。東北海道の代表として全道大会に出場が決まってから毎日練習を重ね、こちらも10月に岡山県で行われる全国大会に出場することとなりました。両大会とも、校内大会では各関連機関の皆様からご指導を賜りました。生徒たちの頑張りはもとより、地域の皆様のご支援をいただいで学習している成果が形となって現れていることを実感しております。今後とも変わらぬご支援のほどよろしくお願いいたします。



最優秀賞を受賞しました!

【全道技術競技大会入賞者】

農業鑑定競技(畜産コース)

- 優秀賞1席 南澤 茜(3年) 全国大会へ
- 優秀賞5席 小笠原 陽(3年) 全国大会へ
- 優秀賞7席 杉本 昌也(2年)

【全道意見発表大会入賞者】

分野(畜産)

- 最優秀賞 守屋 美紅(3年) 全国大会へ

●【経営科・専攻科】根室共進会参加

酪農経営科では昨年度からは乳牛をお借りして校内で飼養管理を行い共進会に参加しています。

8月27日(日)にホクレン根室地区家畜市場で開催

された根室管内共進会に参加し、酪農後継者の育成を目的に行われるジュニアカップで、酪農経営科3年、志賀満貴君が見事1位を獲得しました。同じく3年生の大森 匠君が2位を受賞しました。



ジュニアカップで1位を受賞

また、専攻科1年目学生 石黒瑞歩さんが、第4部未経験産ジュニアミドルクラスで4位入賞、第6部未経験産シニアミドルクラスで2位に入賞、1年目学生 松井慎君が第1部Jサイアカーフクラスで、1位兼未経験産総合3位、第5部未経験産ミドルクラスで3位入賞しました。経営科生徒・専攻科学生共に、9月に安平町早来で行われる北海道ホルスタインナショナルショーへ参加することとなりました。牛をお借りし、専攻科・松井君が実習でお世話になっている伊藤敏彦様へ良い報告をすることが出来ました。誠にありがとうございました。今後ともご指導・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

●【専攻科】北矢ケレス友の会圃場検討会

8月2日(水)の圃場検討会に学生4人が参加しました。これは専攻科後援会長である石田 敦さんら4人の農家さん



福本さんより説明を受ける様子

さんが平成18年に結成した「ケレス友の会」会員の草地を見学し、牧草の生育具合などを観察する検討会です。最初に福本さんのチモシー新品種「マオイ」の試験圃場を見学し、その越冬性の高さを確認、次の圃場では一年間休作してラウンドアップを3回散布することによりシバムギの再生を防いでいる現場を観察しました。参加した学生からは、「ここで見た新品種を家の草地管理に取り入れてみたい」などの感想が聞かれました。

●【専攻科】第1回特別教育活動

8月22日(火)、株式会社ASAHIサポートセンター調理室をお借りして、ソーセージ作りを行いました。

今回は専攻科のオリジナルレシピを用いて、自分達で調味料を配合し腸詰めを行いました。学生達は、「天然の羊腸を初めて見た」「方法がわかったので今度家族と作ってみたい」と話していました。

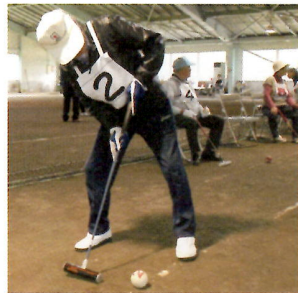


ソーセージ作りの様子

室内に響き渡る声の掛け合いと ボールの音

第25回根室管内農協交流ゲートボール大会

8月3日(木)に別海町ファミリースポーツハウスで、第25回根室管内農協交流ゲートボール大会が行われました。年々競技人口が減っていき、チーム数も去年は16チーム出場しましたが、今年は10チームと大きく減ったこともあり、競技スペースが狭い室内で開催することとなりました。当農協は人数が少なくチームが組めなかったため、他のチームに加わるようになりました。室内であるからか、ボールの音や戦術の指示が響き渡って外で競技するよりも迫力があり、白熱した試合となりました。怪我なく、体調崩さず、楽しめたゲートボール大会となりました。参加者の皆様、大変お疲れ様でした。



大会結果

チーム成績

- 優勝 フレンド (JA道東あさひ 別海支所)
- 準優勝 東中 (JA中標津)
- 3位 根室 (JA道東あさひ 根室支所)



表彰を受けるフレンド優勝チーム

より良いAコープ店舗を目指して 店舗利用者懇談会

8月1日(火)、第1回店舗利用者懇談会が開催されました。

農協女性部より3人と市街地区の店舗利用者3人の方に委嘱状が小湊組合長より手渡されました。

また、ホクレン中標津支所・殿崎考査役よりAコープ商品の冷麦・浅漬けの商品説明が試食を交えて行われました。

会議では今後の店舗運営にとって、貴重な意見や要望などが出されました。

平成29年度委員

女性部

中村及子さん、山本まり子さん、小林藍さん

市街

成澤志津さん、竹田有美子さん、佐々木貴子さん

以上6人の皆様宜しく願いいたします。



小湊組合長から委嘱状を受け取る委員のみなさん



ホクレン中標津支所・殿崎考査役より参加者にAコープ商品の説明がされました

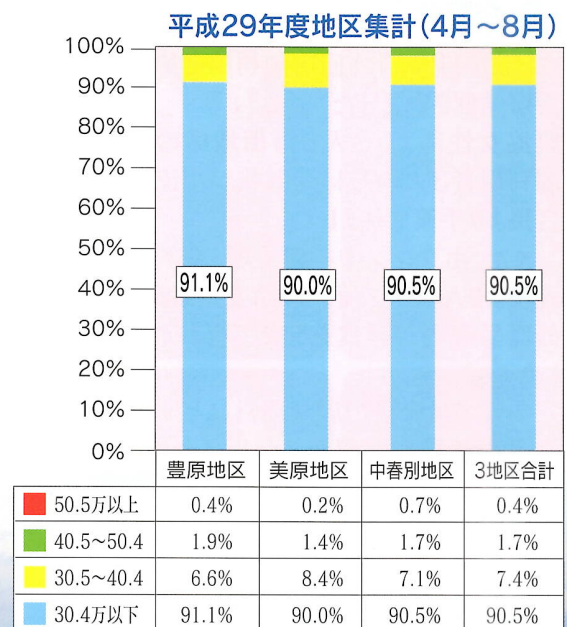
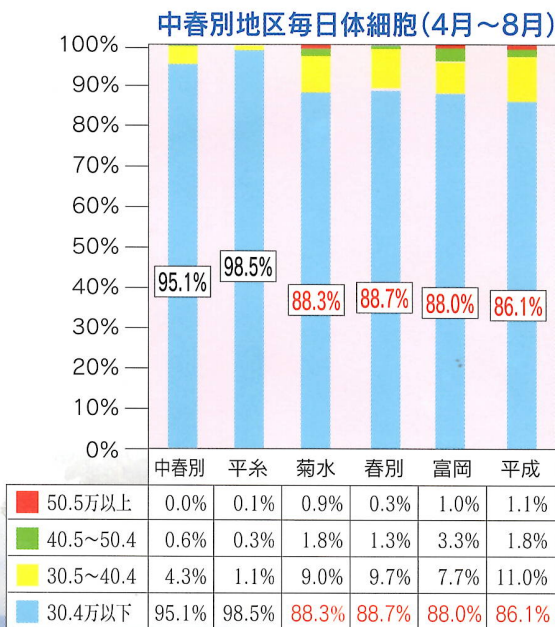
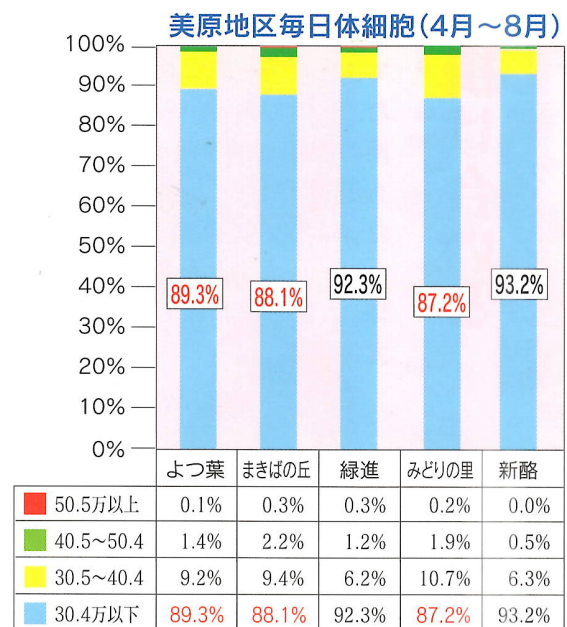
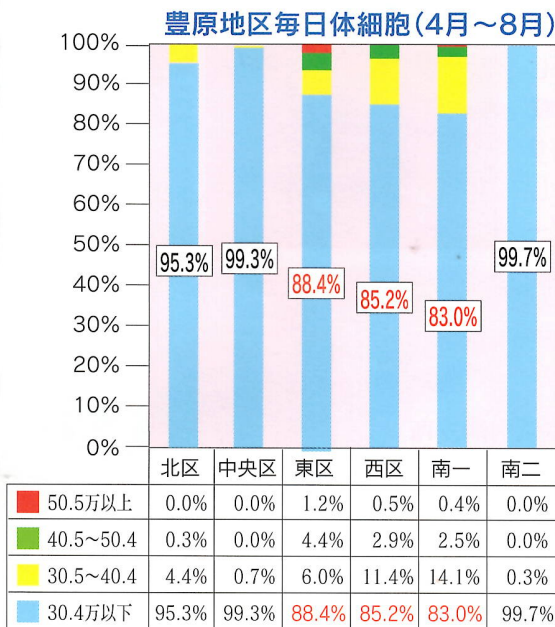


生乳汚染事故を無くそう！

- **抗生物質混入事故**.....JA中春別発生件数 0件 管内合計では**4**件です。
- **生菌による汚染事故**.....JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- **異物混入(小動物)、加水、血乳**による汚染事故...JA中春別発生件数 0件 管内合計では**1**件です。
- **異臭、異常風味による汚染事故**.....JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。

受けて得！ 年一回のミルカー・バルク点検！

良質生乳生産推進委員からの標語





第6回

理事会の動き

平成29年8月29日(火)

議案

1. 平成29年度9月末棚卸実査日程(案)について
2. 平成28年度補正畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業に係る資金の借入・貸付について
3. 平成29年度畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業に係る事業計画について(施設整備)
4. 平成29年度営農年度財産造成に伴う資金の借入・貸付について
5. 平成29年度飼料生産型酪農経営支援事業について

報告事項

1. 平成29年度6月末定期監査報告書について
2. (一社)北海道農協経営審査協会による内部審査報告書について
3. 第19回「宵の市」の終了について
4. 全酪連回転出資から出資金の振向けについて
5. 平成29年度釧路地区・根室管内農協監事協議会道内視察研修について
6. 平成29年度職員視察研修について
7. JAバンク北海道 夏期特別推進運動「みんなでおいしい北海道ドーン貯(ちょ)夏のキャンペーン」の実績について
8. 平成29年度7月末営農生産関連実績について
9. ホクレン乳用成牛飼養環境向上支援事業の実施について
10. なかしゅんべつ未来牧場の預託牛事故に係る互助会規程による見舞金の支払いについて

7月 乳質乳価一覧表

(単位:円)

7月分乳代支払単価

			単価	算出基礎	支払乳価	前年同期	差	項目	単価(円)/(kg)%
乳脂肪分			929.096		35.46	35.07	0.39	乳脂肪分①	35円46銭
無脂乳固形分			587.607		51.11	50.17	0.94	無脂乳固形分②	51円11銭
補給金(脱パ・チーズ・生クリーム)			7.6965		7.70	6.11	1.59	補給金③チーズ奨励金④	7円70銭
乳質単価	生菌数	ランク1	2	313,9513,368.8	3.64	3.68	-0.04	脂肪率 全道	3.82%
		ランク2	0	8,802,560.4				脂肪率 農協	3.86%
		ランク3	-3	173,589.3				無脂固形分率 全道	8.70%
	体細胞数	ランク1	2	263,745,970.1				無脂固形分率 農協	8.68%
		ランク2	1	30,788,294.5				成分乳価 全道	94円27銭
		ランク3	-2	5,620,355.5				①+②+③+④=⑤ 農協	94円59銭
合計					97.91	95.03	2.88	乳質乳価 ⑥ 全道	3円64銭
								農協	3円58銭
								乳代合計 全道	97円91銭
								農協	98円17銭
								⑤+⑥ 差異	0円26銭

組合員の 広場



作品名「小野沼公園・春の気配」松井繁男氏



作品名「小野沼公園・初夏の趣」松井繁男氏

今月号の組合員の広場は「写友 北風」の作品を掲載いたしました。組合員の広場では習字や俳句、短歌、絵画、写真など多数の作品を募集しております。営農振興課・丸山までお気軽にご連絡ください。